

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	建物火災時の検索救助について
3. 体験した事例の中心的要素	出火建物の外観だけで活動内容を判断してしまい、建物内部の状況把握をしていなかったため。
4. 体験した事例の原因・理由	2階の床部分（部屋の中心）が抜けているとは知らずに「大丈夫だろう・抜けていないだろう」と言う、先入観からのヒヤリハットである。

【体験した事例の直接的原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成 10 年 10 月 0 日 午後 23 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋内：二階部分の要救検索及び排煙作業
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	死亡していた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	その他：実際には転落をしなかったが、排煙作業を終了すると部屋の中心が燃え抜けていた。
7. 事例体験時の活動	火災、現場活動中期、 [木造建物]
8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか	人命検索、開口部の設定及び解放、
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	これまでに1, 2回程度体験している。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[38]歳、勤続年数[16]年、現場経験年数[11]年、階級[消防士長]、同様の活動 [1年に数度]、任務 [隊員]
○当事者B	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、任務 []
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、任務 []
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A	建物火災に出動。	
経過2	当事者A	到着後、要救助者の有無が不明と情報を得る。	
経過3	当事者A	援護注水を受け、屋内検索を開始。	
経過4	当事者A	二階部分に進入し、各部屋を検索を開始。	
経過5	当事者A	最初に進入した部屋の排煙作業・検索を開始。	
経過6	当事者A	排煙時、部屋の中心部分に焼け抜けを確認。	
経過7	当事者A	中心部分を検索していたらと思うと「ヒヤリ」する。	
経過8	当事者A	現場活動終了後、部隊にて体験談を話し合う。	
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】



- 事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？
ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

たまたま、負傷事故にならなかった。その他：室内に進入し、壁面寄りに検索を行っていったため、落下せずに済んだ。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

いいえ

・発生日時 : 平成10年10月 午後23時頃

経過	現場の状況	隊員A	備考
		隊員/消防士長 ・年齢 38 歳 ・勤続 16 年 ・現場 11 年 ・同様の活動: 1年に数度	
		建物火災に出動。 ↓ 到着後、要救助者の有無が不明と情報を得る。 ↓ 援護注水を受け、屋内検索を開始。 ↓ 二階部分に進入し、各部屋を検索を開始。 ↓ 最初に進入した部屋の排煙作業・検索を開始。 ↓ 排煙時、部屋の中心部分に焼け抜けを確認。 ↓ 中心部分を検索していたらと思うと「ヒヤリ」する。 ↓ 現場活動終了後、部隊にて体験談を話し合う。	出火建物の外観だけで活動内容を判断してしまい、建物内部の状況把握をしていなかった 2階の床部分(部屋の中心)が抜けているとは知らずに「大丈夫だろう・抜けていないだろう」という、先入観があった。

◎ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

- 直接的な原因: 行動の意志決定に問題があった。
- ・たまたま、負傷事故にならなかった。
- その他: 室内に進入し、壁面寄りに検索を行っていたため、落下せずに済んだ。

◎ヒヤリハットが起きた背後要因

- (心理・体調について)
- ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。
 - ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。
 - ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。
 - ・活動に対する経験が不足していた。